

馬町爆撃を語るろう会

第一部

DVD (文部科学省選定作品) … (27分)
「とどけられた遺書―語りつぐ京都の戦争―」
を見ます。

☆これは大阪・羽衣国際大学・放送・メディア映像学の学生たちが制作した作品。戦争体験者が少なくなり戦争の実相が風化しています。戦犯として絞首刑になった学徒兵(京都出身)の遺書が主題、そして、DVDには、馬町爆撃の映像と、町の人のお話も入っています。同大学から先生や学生も当日参加されます



第二部

爆撃のあった日に、
爆撃にあった場所で
爆撃を語ろう

★馬町は、前の戦争で京都市内で最初に爆撃され、死者34名・負傷者56名・被災した全壊31・半壊11軒、修道校・京都女子学園も被害を被りました。

時は、1945年(昭和20)1月16日・夜1120分。米空軍機B29が250ポンド高性能爆弾を約20発投下したと米軍資料に書かれています。

軍事施設も工場も無く、市民しかいないところに爆弾を落とす、平時では考えられないことが戦争では平気で行われるのです。馬町の爆撃が、それを教えています。その教訓を後の世代に語り継ぐのも戦争世代の責任ではないでしょうか？。



写真・上、爆撃の被害を受けた京都女専(現・京都女子学園)



写真・下、爆撃の被害家屋から罹災者を探す警防団の人たち

◎日時：平成24年1月16日(月)

午後7時30分～9時10分

◎場所：旧・修道小学校・図書室

京都市東山区渋谷通東大路東入

市バス：馬町バス停・すぐ東

主催：馬町爆撃を語ろう会(仮称)

仮連絡場所：075・561・7974 渋谷

入場無料

協賛：修道自治連合会